



試験報告書

令和4年3月9日

No.212-21-G-0448

一般財団法人 化学物質評価研究機構
東京事業所
埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600番地
TEL 0480-37-2601 FAX 0480-37-2521

1. 依頼者 株式会社ヒロ・コーポレーション 殿
2. 試験日 令和4年3月8日
3. 試験料
(1) 試料名 ポータブルアルコールチェッカー HDL-J8 (20220303) 4点
(2) 写真



4. 試験項目及び方法

- (1) 試験項目
(2) 試験方法

アルコール検知器の性能評価試験

①直線性試験

国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センターで生産された認証標準物質を原料として、ISO 6142-1 : 2015 に規定されている質量比混合法により製造したエタノール標準ガスを用いて、アルコール濃度測定器を校正した。その後、エタノールガス発生装置を用いて、流量2.5 L/min のエタノールガスを発生させ、このガスの濃度をアルコール濃度測定器で測定した (0.00mg/L、0.10 mg/L 及び0.20 mg/L)。上記の方法で発生させたエタノールガスを試料に1回ずつ導入し、指示値を読み取った。

次頁に続く

②繰り返し性試験

国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センターで生産された認証標準物質を原料として、ISO 6142-1 : 2015 に規定されている質量比混合法により製造したエタノール標準ガスを用いて、アルコール濃度測定器を校正した。その後、エタノールガス発生装置を用いて、流量2.5 L/minのエタノールガスを発生させ、このガスの濃度をアルコール濃度測定器で測定した (0.00 mg/L、0.10 mg/L 及び 0.20 mg/L)。上記の方法で発生させたエタノールガスを試料 No.2 に繰り返し 10 回導入し、指示値を読み取った。

③干渉ガスの影響

一酸化炭素 (50 vol ppm)、アセトン (10 vol ppm) 及び水素 (50 vol ppm) それぞれのガスを流量 2.5 L/min で試料 No.4 に 1 回ずつ導入し、指示値を読み取った。

5. 試験結果

①直線性試験

単位 mg/L

	試料 No.	発生ガス濃度		
		0.00	0.10	0.20
指示値	1	0.00	0.10	0.20
	2	0.00	0.10	0.19
	3	0.00	0.12	0.25
	4	0.00	0.10	0.18

②繰り返し性試験

試料 No.2

単位 mg/L

		発生ガス濃度		
		0.00	0.10	0.20
指示値	1回目	0.00	0.10	0.19
	2回目	0.00	0.10	0.19
	3回目	0.00	0.10	0.19
	4回目	0.00	0.10	0.19
	5回目	0.00	0.11	0.19
	6回目	0.00	0.10	0.19
	7回目	0.00	0.11	0.20
	8回目	0.00	0.11	0.20
	9回目	0.00	0.12	0.21
	10回目	0.00	0.11	0.21

③干渉ガスの影響

試料 No.4

単位 mg/L

	干渉ガス成分名		
	一酸化炭素	アセトン	水素
指示値	0.00	0.00	0.00

6. 備 考

試験環境

室温：(23～24) °C、湿度：(44～50) %RH

試料には個体識別可能な情報がない。

そのため、「試料No.」は本機構が試料の個体識別のために付与したものである。

本試験報告書は、依頼者より提供されたポータブルアルコールチェッカー HDL-J8 (20220303) 4点の試験結果を記述したものであり、この4点以外のポータブルアルコールチェッカー HDL-J8 (20220303) に適用されるものではない。

本試験はアルコール検知器協議会による、アルコール検知器検定制度に基づく試験ではない。また、本機構は試験を実施した試料の抜き取りを実施していない。

本試験報告書に記載された試料に関する固有情報は、依頼者より提供されたものであり、情報が異なる場合は結果に影響を及ぼす可能性がある。

また、それによって影響を受ける結果について、本機構では責任を負わない。

以 上

(受付 No.212-21-1-2089)